

北海之光

12月号 北海道教区報

どのような道を歩むときにも主を知れ
主はあなたの道筋をまっすぐにしてください

箴言3章6節

発行所 北海の光社
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp

http://www.nssk-hokkaido.jp

発行人 笹森田鶴



ブルー・クリスマス

〜限りなく優しいひととき〜

網走聖ペテロ教会牧師
北見聖ヤコブ教会牧師
紋別聖マリヤ教会管理牧師

司祭 フランシスコ 飯野 正行

主の御降誕を心よりお喜び
申し上げます。

恋人たちのお祭り。踊り明
かす夜。ロマンチックな語ら
い。どれもこれも素敵だなと
思います。でも、すべての人
がクリスマスを楽しんでいる
わけではないことが出て
くるわけはありません。

そんな何らかの事情により
悲嘆に暮れる人々のために
起こって来ているのが「ブ
ルー・クリスマス」の礼拝で
す。一九六四年エルヴィス・
プレスリーが恋人のいない寂
しさを歌った「ブルー・クリ
スマス」を思い浮かべる方々
もおられるかも知れませ
んが、この曲が具体的にわか
りかたなのかわかりか
らないのですが、二〇〇七年
にアメリカのクリスチャンボ
スト誌の記者が「ブルー・ク

リスマス」について触れてい
ますので、水面下ではすでに
始まっていたものと思われま
す。初めは愛する人を亡くし、
悲しみを経験している人々の
ための礼拝でしたが、次第に、
仕事を失った人、人間関係を
失った人、様々な形の喪失の
中にある人々を覚えての礼拝
となっていきました。「礼拝」
と言いましても教派・教団に
よってやり方は様々で、「礼
拝」形式であったり、「黙想」
形式であったり、単純な「集
い」であったり様々です。心
の中にある悲しみを表に出し
ても大丈夫だという雰囲気
大切にされ、愛する人を覚え
てろうそくに火がともされる
ことも多いようです。

この時期は、愛する人が生
前に座っていた食卓の席が空
いていたり、休日の買い物

する時に贈り物を一人分減ら
したりする時です。「泣く人
と共に泣く人」は「喜ぶ人と
共に喜ぶ人」でもあるはず。
イエス様の御降誕をお祝いす
るのですから、大いに「はじ
けて」いいと思います。ただ
何らかの喪失により悲しみと
孤独の中にある人にとつて
は、お祝いをする気分になれ
ないにもかかわらず、季節
柄、楽しそうに振る舞うこと
を求められてしまうように感
じている時期となります。こ
のような方々のために始まっ
た「ブルー・クリスマス礼拝」
が「冬至」に行われることが
多いのは、悲しみと孤独の中
にある人にとつて、クリスマ
スが「最も長い夜」だからで
す。

「闇の中を歩む民は、大い
なる光を見 死の陰の地に住
む者の上に、光が輝いた」(イ
ザヤ九・一)と聖書は語りま
す。「闇の中を歩む民、死の
陰の地に住む者」のための「希
望と回復の預言」です。これ
が救い主の「御降誕」の預言
でもあることを思い出すと、
「ブルー・クリスマス」の精
神こそ、「クリスマス」の精

神なのではないかとさえ思え
てまいります。イルミネー
ションの煌めきの中で「最も
長い夜」を過ごしている方々
の上に主の悲しいくらいに慈
しみが豊かに注がれますよう
に。

ホームの一人の女の子。三
歳になったばかりでまだオム
ツをしていた。今六年生のそ
の子は、出かける私に「髭剃
り持った?!眼鏡は?!充電器
は?!ケータイは!!」とゲーム
をしながら叫んでいます。こ
の子にとつてもクリスマス
が「限りなく優しいひととき」
となりますように。ホームに
この子が来てくれて、間もな
く一〇年になろうとしています。

